

ケアマネ通信おびひろ

第61号（令和2年3月10日発行）

目次

1. 研修会「法的根拠に基づくケアマネジメント」に参加して
2. 学習会「がんターミナル～暫定ケアプランの支援について」
3. ケアマネ交流会 ゲーム大会
4. ケアマネの輪
5. いやしのオフタイム
6. お知らせ

「法的根拠に基づくケアマネジメント」に参加して

地域包括支援センター愛仁園 塩見一晃

令和元年11月9日・10日の2日間にわたり道新ビル2階大会議室で行われた帯広市介護支援専門員連絡協議会の研修会に参加させていただきました。

講師は、あたご研究所 代表 「後藤 佳苗」先生でした。介護保険の法令や運営基準、ケアマネジメント業務などについて、法的根拠に基づいて、体系的に学ぶことができました。

法的根拠などと聞くと、難しく堅苦しいイメージがあります。

しかし、後藤先生の講義は、むしろこの逆で、とてもわかりやすく楽しい内容でした。先生の魔術（話術）にかかり、会場も笑いの絶えない空間と化していました。



特に先生の著書「ケアマネ実務ハンドブック」を使い、クイズ形式で進めていくグループワークは革命的な内容で、参加者もグイグイと引き込まれていきます。後藤先生の問いかけに楽しそうにグループ内で相談し、答えを出していく受講者達。答えは次のページに載っているが、見てはいけない。皆の心はただ一つ、「早く答えが知りたい。後藤先生、焦らさないで・・・早くページをめくらせて・・・」と皆、ワクワク、ドキドキでした。

答え合わせが終わったあとは、会場からどよめきの嵐。「えー嘘ー」「やったー」などのガッツポーズ。どの問題も良問で、3択だけど、これがなかなか当たらない。その答えを知ると、目から鱗で、大変勉強になりました。

ケアマネジメント業務の中には、思わぬことで「違う」と言われかねない落とし穴が潜んでいます。「うっかりではすまされない。」私たちが日頃行っている業務（行為）が減算対象の恐れがあるかどうか、きちんと調べ、しっかりと学んでいかなければならない事を、今回のこの研修で改めて気づかされました。2日間、楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。機会があれば、また後藤先生の授業に参加させて頂きたいと思います。後藤先生、ありがとうございました。

研修会の様子



司会は研修部：東副部長

「がんターミナル～暫定ケアプランの支援について」に参加して

あんじゅ音更居宅介護支援事業所 屋仲三代子

皆さん、こんにちは。

いつもお世話になっております。

令和元年10月23日（水）にグリーンプラザ1階大集会室にて行われた、第2回学習会「事例検討会」に参加させて頂きました。

開西病院在宅ケアセンター：菅野咲子さんからの事例提供、隣に座ったツーピース水谷晃さんからは福祉用具の視点からの意見がありました。新規相談をうけてから介護認定の結果が下りるまでの期間、悩まれたという（1. 包括との連携 2. 軽度者申請の手順 3. ターミナル期における本人の意思決定支援）について、参加者でのグループワーク、検討を行いました。

ターミナルでかわり、すでに亡くなられたケースの振り返りで対応の難しさ、辛さ、終了後の心の痛み、モヤモヤなどを発表しあいました。

事例ごとに心を痛めたり、悩んだり、もっとできることがあったのでは・・・と後悔しながら、ケアマネとして成長していくのだと改めて感じました。

会長の挨拶で「ケアマネが元気に」とありましたが、検討の中で皆さんと思いを共有し、頑張れる気持ちになれました。

企画していただきました研修部の皆さん、ありがとうございました。

ケアマネ交流会 「ゲーム大会に参加して」

養護老人ホーム帯広信楽苑 前賢太郎

令和元年11月29日に開催された交流会に今回初めて参加させていただきました。人見知りの私ですが、お誘いの声もあり勇気を出してスガイディノスへ。ケアマネ連協の皆さんが温かく迎えて頂き、緊張感がほぐれたところで、チーム対抗のゲーム大会がスタート！

マリオカートとエアホッケーに参加しましたが、チーム戦は俄然やる気が出て、心も体も久々に熱くなりました。笑顔と笑い声の多い空間はとても心地良く、参加賞や景品まで頂けて交流会の楽しさを発実感しました。交流会に参加したことがない皆さん、是非参加することをお勧めします。



ケアマネの輪

ケアマネジメントセンターほほえみ 高橋俊介

皆さん、こんにちは。居宅介護支援事業所ほほえみの高橋俊介です。ケアマネとして1年半が経過しようとしています。右も左も分からないまま歩き出し、出口の見えない迷路に迷い込んだ感はありませんが、「分からない事は何回も聴く！」を体現し、先輩ケアマネに迷惑をかける日々を続けております。音更にある当事業所はケアマネ4人の少数精鋭体制。事業所内にヘルパー事業所ほほえみがあり、女性の黄色い笑い声が絶えない環境です。老健とかちと併設しており、第一病院を母体として、医療、在宅と連携がとりやすい環境は、利用者様の状態に応じた対応ができる当法人の強みです。

また、来年度から音更包括の事業も受け持つ予定であり、より地域に根差して支援できる環境を構築すべき、現在、立ち上げ担当者が鼻息を荒く奮闘している最中です。音更に来られた際は、色々な声（黄色い笑い声や鼻息）が聴けるかと思しますので是非おたちよりください。

ケアマネの話少し・・・前任が施設介護士であった自分は「どうしてこんなに痛いのに入院しないのか、こんな環境でも在宅で過ごしたいのか、施設で暮らせばもっと健康的に暮らせるのに・・・」と思うことが何度もありました。同時に施設では感じなかった、その人の生きる力に圧倒的な存在感を感じたことも事実です。風や雨をものともせず、一人で荒野に立つ、ケアマネは話しかけたり、支えたりせずに、そっと隣で同じ景色を見ている。自分はいつもそんなイメージを持って業務を行っています。大変なことも多いですが、一緒に同じ風景を見られる時を想像し、日々モチベーションを上げる努力をしていますので、見かけた際は「頑張っているね。」と人助けだと思って優しい声をかけてください。よろしくお願い致します。

いやしのオフタイム

居宅介護支援事業所 向日葵 早川由美子

いつもお世話になっております。居宅介護支援事業所向日葵の早川と申します。今後ともよろしくお願ひします。いやしの内容ではないのですが、こんな機会はないので伝えます。私は一昨年の10月に介護支援専門員の試験を受け、11月の検診で癌が見つかり、その後の検査で悪性であることが告げられました。合格がわかって正直喜ばせませんでした。治療を終え7月より向日葵でお世話になることになりました。

上司や諸先輩方も自分の身体を大切に強く指導をされ配慮して頂いています。病気になってわかったことは、あの時のことを考えると今は生きているだけで幸せなんだと思えます。

私が伝えたいのは検診の大切さ。私も自覚症状が全くなかったため、自分は大丈夫。癌なんてドラマじゃないんだからとバカにし忙しさを理由に受けていませんでした。また今度と先延ばしていたらあつという間に進行してしまかもしれません。早期発見なら治療の苦しみも違います。これと呼んで少しでも何かを感じて頂けたら、是非検診に行ってください。



～お知らせ～

帯広市介護認定審査委員を募集しています。

要件

- 本会会員であること
- 本会を代表して、審査会委員を担えること
- 所属事業所から許可が得られること
- おおむね3か月以上（場合により継続あり）



問い合わせ：事務局 金井 0155-21-3292

注意

～新型コロナウイルス（感染症）～

新型コロナウイルスの感染拡大により、北海道では緊急事態宣言が出されています。拡大防止のためにも、各事業所等に届いている通達などに従い、しっかりと対策を講じましょう。皆さんの事業所から感染症を出さないためにも感染予防に徹底して取り組んでください。

帯広市介護支援専門員連絡協議会

【事務局からのお願い】

- ★ 連絡先や勤務先が変わったり、名字が変更になった場合、HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用し、速やかに届出てください。
- ★ 会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についてもご協力をお願いします。
- ★ 新規入会は随時受け付けています。「入退会・変更届出書」はHPから入手できますので、詳細については事務局までお問合せください。

<http://keamane.yokochou.com/>

事務局担当：金井（帯広市社会福祉協議会）

【編集後記】

ケアマネ通信の発行がいつも遅れてしまい、申し訳ありません。今回は何と云っても、キャリアパス事業を活用し、後藤先生に2日にかけて研修を行っていただいたことですね。一日目終了後に、懇親会で後藤先生の飲みっぷりたるや、そして次の日も楽しく研修を行う姿、見習わなくてはと感じました（飲みっぷりをマネするわけではないですよ笑）

そして交流会も初めて行ったゲーム大会。とても盛り上がりました。参加したことが無い方も、今後参加いただけると嬉しいです。

(A・H)